

社会活動

- お客様との関わり ————— P.50
- 製品を通じたバリアフリーへの取り組み — P.52
- 地域社会への貢献 ————— P.53
- スポーツ活動 ————— P.54
- 従業員との関わり ————— P.55

社会活動

お客様との関わり

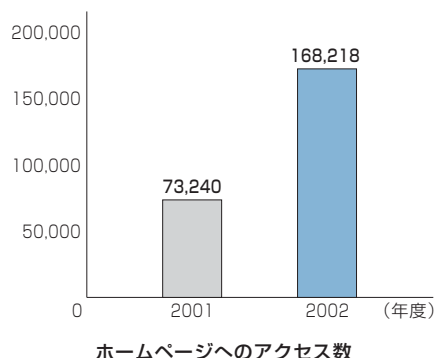
■ 小学生自動車相談室

三菱自動車では、当社及び自動車産業に関する様々な問合わせをフリーダイヤル、手紙、はがきにて受付けて回答する「小学生自動車相談室」を1993年以来毎年開設しています。10年目となる2002年度は7月22日～11月30日に実施しました。小学生を対象にした専門の相談室を設置しているのは自動車業界でも三菱自動車だけのユニークな取り組みで、子供達や先生方に好評であり、毎年小学生から研究成果の報告や礼状が数多く寄せられています。また、三菱自動車のホームページ上でも「小学生自動車相談室Heart-Beat KIDS」をオープンし、情報提供の充実を図っています。2002年には「自動車づくりのなぜなにボックス」の追加など大幅なリニューアルを実施しました。小学生自動車相談室に寄せられる質問の中で特によく聞かれる質問に対し、イラストを交えてわかりやすく回答しています。



「小学生自動車相談室」ホームページ
<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/KIDS/>

2002年は、電話・手紙相談が前年から半減(306→158件)した一方、ホームページへのアクセス数が倍増しました。これは、前述のホームページのリニューアル効果に加えて、小学校のIT教育の拡大により、小学生相談がWebにシフトしているものと推察されます。



その他、自動車産業をわかりやすく紹介した教材パンフレット「こんにちは、三菱自動車です。」を作成し、販売会社を通じて地域の小学校へ配布するなど、子供達に対し自動車産業への理解を深めてもらえるよう活動しています。



教材パンフレット「こんにちは、三菱自動車です。」

お客様相談センター

全社的な問い合わせ窓口として「お客様相談センター」を下表の通り開設しています。

ご相談内容	全国共通フリーダイヤル	受付時間(除く所定の定休日)
三菱自動車ならびに乗用車について	0120-324-860	月～金 9:00～18:00 土・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
三菱ふそうならびにトラック・バスについて	0120-324-230	月～金 9:00～12:00 / 13:00～17:00

■ 安全運転

三菱自動車では、ホームページや、販売会社で配布しているパンフレットなどを通じて、安全運転に関する基礎知識や情報の提供を継続的に行っています。



ホームページ上での情報提供



パンフレット

また安全運転講習として、雪道を安全かつ快適に運転するためのスノードライビングスクールを実施しています（1989年～1998年、2001年～2002年）。

■ 三菱ふそうサマースケッチコンクール

夏の恒例行事として、全国の幼稚園児・保育園児を対象に「三菱ふそうサマースケッチコンクール」を開催しています。毎年、全国の子供たちから、発想豊かで元気いっぱいの作品が多数寄せられており、第24回目となる2002年のコンクールでは、948園から計68,262点の作品が集まりました。それら全ての作品を1点1点慎重に審査し、最優秀賞3名、優秀賞5名、準優秀賞10名、佳作70名の計88名を選出しました。



第24回の最優秀作品（3点）

■ 無料音楽ライブの開催

本社のショールームにおいて、「Heart-Beat Live」を不定期に開催しています。音楽ジャンルを問わない、気軽な無料ライブとして、一般のお客様から好評を得ています。2002年度は計10回開催しました。



展示施設「三菱オートギャラリー」

「三菱オートギャラリー」は、1917年（大正6年）の三菱A型に始まり、現在にいたるまで永年にわたって生産された数々の三菱乗用車とその発展の歩みを、社員だけでなく一般のお客様にもご理解いただけるよう、1989年に乗用車技術センター（愛知県岡崎市）内に開設されました。ギャラリー開設以来、15万人を超えるお客様が来場されています。約1,100m²の中には、時代を駆け抜けてきた名車、歴史に功績を残したエボックメーカーキング車、モータースポーツで活躍した競技車などを中心に、エンジンや参考資料、スケッチなども展示し、三菱の乗用車の歴史や現代の高性能車に受け継がれている乗用車づくりのコンセプトをわかりやすく紹介しています。



ご来館の際は、あらかじめお申込みください。

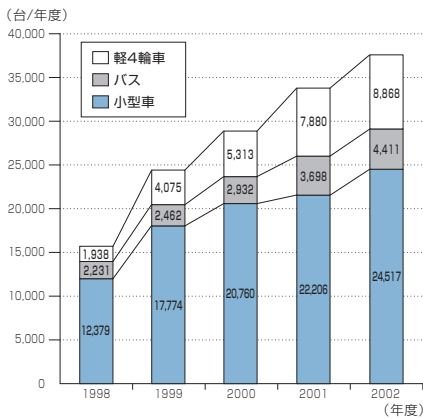
◆お申し込み・お問い合わせ先 三菱自動車工業株式会社 開発本部 企画管理部 開発支援グループ
〒444-8501 愛知県岡崎市橋目町字中新切1番地 TEL：0564-32-5203

◆開館時間 8：15～17：15

◆休館日 土・日曜日（5月・8月・年末年始に連休有り）

製品を通じたバリアフリーへの取り組み

自動車の登場により、人間は行動範囲を広げることができました。そして今、自動車は、お年寄りや体の不自由な方のモビリティの可能性を大きく広げています。社会の高齢化や、介護保険法^{※1}・交通バリアフリー法^{※2}等の法律整備などに伴い、福祉車両のニーズは拡大傾向にあります。この需要に応じて、自動車メーカー各社が車種・仕様を増やし、ユーザー側の選択肢が拡大したこともあり、下図に示すように販売実績は毎年堅調に伸び続けています。三菱自動車／三菱ふそうは、軽自動車から大型バスまで様々な福祉車両ラインナップを備えており、製品を通じてバリアフリー社会の構築に貢献しています。



福祉車両の国内販売実績 (社団法人日本自動車工業会発表資料より作成)

■ **福祉車両「ハーティラン」シリーズ**
三菱自動車は、福祉車両のラインナップとして、乗用車を中心に「ハーティラン」シリーズを用意しています。ハーティラン (Hearty Run) とは「心と心をつないで一緒に走ろう」という意味を含めた造語です。病気・ケガなどに起因する身体障害により移動に車いすを必要とする方や、加齢などにより歩行および車への乗り降りが困難となった方のための特別な装備を施した三菱自動車ならではの幅広いラインナップで、様々なニーズに対応することができます。2002年5月には「eKワゴン」に助手席への乗降を容易にする「助手席ムービングシート仕様車」と「助手席回転シート仕様車」を新たに設定しました。また同年12月には「コルト」にも「助手席回転シート仕様車」を設定しました。

また、車や機器に実際に触れて選びやすいよう、常設展示場を設置したり、全国各地におけるイベント・展示会・試乗会の開催・出展を積極的に行っています。

常設展示場	所在地
三菱オートガーデン多摩 バリアフリーラウンジ	東京都多摩市唐木田1-16-1
三菱オートガーデン大阪 バリアフリーラウンジ	大阪府福島区福島7-20-1



第29回国際福祉機器展 (2002年9月)

なお、より最新かつ詳細な情報はホームページ (<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/japan/heartyrun/>) をご覧ください。

車いす仕様車	車いすに座ったままの乗り降りが可能	
乗降補助仕様車	助手席回転シート仕様車	スムーズに乗り降りしやすいよう、助手席シートが回転し、車外へスライド
	助手席ムービングシート仕様車	さらにスムーズに乗り降りしやすいよう、助手席シートが電動で回転し、車外へスライドダウン

ハーティランシリーズラインナップ概要



ミニキャブ 車いす仕様車



コルト 助手席回転シート仕様車

解説

※1：介護保険法

要介護の基準、サービス運営基準などを制定し、公的介護保険の詳細について定めた法律。2000年4月より施行。

※2：交通バリアフリー法

正式名称は「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」。2000年11月より施行。

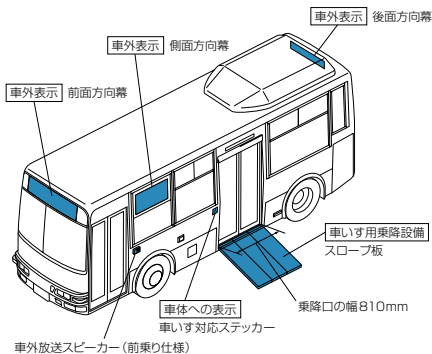
地域社会への貢献

■ 低床バス

路線バスにおいては、乗る人すべてにやさしい低床バスの普及が進んでいますが、交通バリアフリー法の施行後はそのニーズが一層高まっています。三菱ふそうは1997年に国内初の大型低床バスを「ノンステップバス」として発売したのを皮切りに、低床バスの普及に努めてきました。2002年4月には、国内初の全幅2mクラスの小型ノンステップバス「エアロミディME」を発売し、大型から小型までのノンステップバスのフルラインナップが完成しました。また同年11月には、ノンステップバス「エアロミディMK」を発売しました。



三菱ふそう小型路線バス「エアロミディME」



「エアロミディME」交通バリアフリー法への適合

■ 地域住民／団体との共生

三菱自動車／三菱ふそうの各工場では、下記の活動を通して、地域住民との交流・融和を目指しています。

工場見学会
・地域住民、学校、社員の家族等を対象に実施(各製作所) 2002年度見学者数：計22,820人
学校への協力
・市内中学校対象の野球教室を年1回開催(名古屋製作所岡崎工場) ・高校へ講師を派遣(パワートレイン製作所) ・中高生等の企業体験型学習を受け入れ(水島製作所) ・浄化した工場廃水で育てた錦鯉を小学校に毎年寄贈(水島製作所)
会社施設の開放
・体育館やグラウンド等を開放(各製作所) ・カルチャーフェアや大感謝市を開催(川崎製作所)
交通安全の推進
・カープミラー等の交通安全設備を寄贈(名古屋製作所)
地元自治会への加入
祭り・フェスティバル等への協賛
環境関連等の団体への参加や寄付

また、水島製作所ではホームページを開設し、情報発信を行っています。ホームページから工場見学の申込みも可能です。



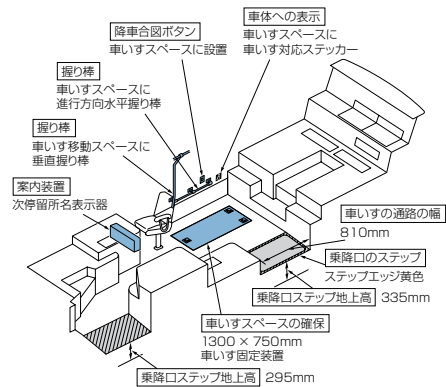
水島製作所ホームページ
<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/mizushima/>

■ 周辺地域の清掃・緑化

各工場では、近隣の一般道路や河川(矢作川、天神川、高梁川等)の清掃活動を自発的に実施したり、あるいは地方自治体主催の清掃活動に参加するなどして、地域の美化に協力しています。また、川崎製作所は川崎市主催の「花の植付け事業」「花のふれあい事業」に参加し、「花と緑のあるまちづくり」の推進に協力しています。

タイでの社会貢献

タイ環境保護協会は、約180頭の象が生息するグエン・クラチャン国立公園での象保護プロジェクトを推進しています。タイにおける三菱自動車の関係会社エムエムシー・シティポール・カンパニー・リミテッド(MSC)は、「三菱自動車ジャンボ基金」を設立し、同プロジェクトに協力しています。また、三菱自動車とMSCは同協会へ「ストラーダ G-Wagon」を寄贈しました。



スポーツ活動

■ モータースポーツ

三菱自動車は、「パリ～ダカールラリー」や「WRC（世界ラリー選手権）」といった世界的なラリーイベントを中心にモータースポーツに参加し、良きライバルである他の自動車メーカーと共にこれらのラリーを盛り上げています。ラリーという極限の闘いで鍛えられた技術を市販車へ反映するため、そしてモータースポーツを通して得られる感動を世界中に伝えるため、三菱自動車はこれからも頂点を追求し続けていきます。

(1) パリ～ダカールラリー

アフリカ大陸を舞台とした「パリダカ」は、あらゆるモータースポーツのなかでも、最も車の耐久性と信頼性が要求されるイベントとして有名です。1983年の初参戦以来、三菱自動車はこの壮大なアドベンチャーラリーに挑み続け、通算8回の総合優勝を獲得しています。

(2) WRC（世界ラリー選手権）

F1グランプリと並ぶモータースポーツの最高峰であり、世界中に多くのファンを抱えるWRC。三菱自動車は、1996年から4年連続でドライバーズ・チャンピオンを獲得するとともに、1998年にはマニュファクチャラーズ・チャンピオンも獲得しました。また、市販車に近い車で争われる「グループN」クラスでは、1995年から2001年まで7年連続でドライバーズ・チャンピオンに輝いています。なお、参戦体制を再構築するため2003年シーズンはWRC参加を一旦休止し、2004年に再参戦する予定です。

(3) その他の主なモータースポーツ参加状況

海外	クロスカントリーラリー・ワールドカップ アジア・パシフィックラリー選手権
国内	全日本ラリー選手権 全日本ダートトライアル選手権 全日本ジムカーナ選手権 スーパー耐久シリーズ

■ その他のスポーツ活動

(1) サッカー

1990年に三菱重工サッカーチームを継承し、「三菱自動車サッカー部」として発足しました。そして、日本プロサッカーリーグ「Jリーグ」の開始にあわせ、活動の母体となる(株)三菱自動車フットボールクラブを1992年に設立し、プロサッカークラブ「浦和レッドダイヤモンズ」を運営しています。



© T.YAMAZOE

(2) 野球

三菱自動車／三菱ふそうの硬式野球部は、たびたび都市対抗野球大会に地区代表として出場しています。2000年には川崎チームが優勝を果たしました。また、オリンピックの日本代表やプロ野球選手も輩出しており、日本野球の発展に大きく寄与しています。

■ スポーツイベント等への協賛

1989年からの三浦国際市民マラソンへの特別協賛や、「箱根駅伝」への車両提供などを行っています。



三浦国際市民マラソン

三菱、パリダカ3連勝！ 25周年大会で勝利

2003年1月1日にフランス・マルセイユをスタート、19日間およそ8,600kmにわたって闘いが繰り広げられた2003年ダカールラリー（正式名称テレフォニカ・ダカール2003／通称パリダカ）は、1月19日にエジプトのシャルムエルシエイクでゴールを迎えました。総合優勝は三菱パジェロエボリューションの増岡浩。16のSS（競技区間）合計5,257kmを通算49時間8分52秒で走り、2連覇を達成しました。増岡のパリダカV2は25年のパリダカ史上4人目で、日本人としては初の快挙。三菱自動車としては1983年パリダカ初参戦以来通算8度目の総合優勝です。また前年に引き続き、総合2～4位も三菱勢が独占しました。



三菱パジェロエボリューション（総合優勝の増岡車）

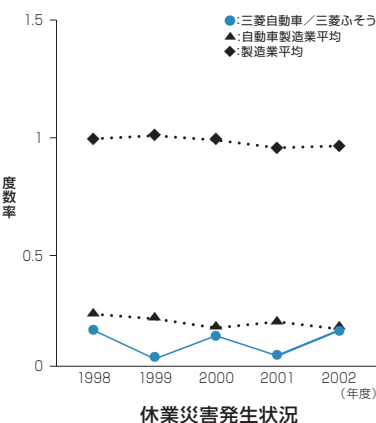
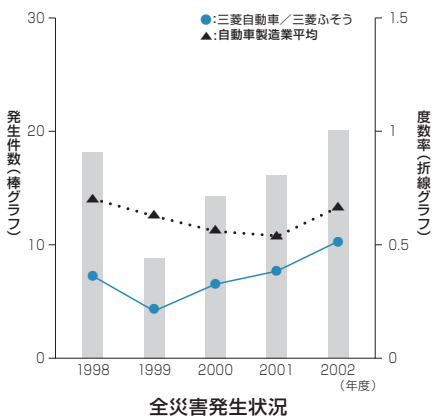
従業員との関わり

■ 安全・衛生

(1) 労働安全

安全で健康に働ける職場の実現のため、「安全は全てに優先する」という基本理念の下、労働災害防止活動を継続して推進しています。

三菱自動車／三菱ふそうでは、休業災害・不休業災害に加え、微小なけがも含めた災害の根絶に努めており、究極の目標「災害ゼロ」を目指しています。災害の発生頻度（度数率^{※1}）は下図に示すように製造業全体及び自動車製造業の平均水準以下で推移しています。しかし、ここ数年は災害が増加傾向にあるため、対策の強化・徹底を図っています。



(2) 交通安全

従業員の交通事故の撲滅を目指し、安全運転講習会の実施、通勤車両の一斉点検、新入社員対象の危険感受度テストなどを実施しています。また、情報の共有化と安全意識の向上に役立てるため、交通事故体験等の届出を義務付けています。

(3) 健康づくり

「健康は自ら作り、管理するもの」という考えを基本に、自主健康管理・自主健康づくり運動、保健師・栄養士が職場に出向く「何でも健康相談」、健康診断結果に基づく生活習慣病の指導、体力テストなど、健康づくり・体力づくりの各種活動を継続的に実施しています。

(4) メンタルヘルス

精神科医・カウンセラーの配置、外部機関利用の健康相談電話の設置など、相談しやすい体制を用意しています。また管理者教育として、ストレスやメンタルヘルスに関する基礎知識や、復職者への対応方法などを付与しています。

■ 人事制度

三菱自動車／三菱ふそうでは、ターンアラウンド計画の一環として、人事制度の改革を推進しています。具体的には、評価・昇進・報酬など全ての処遇について、経験や過去の成果といった年功的要素を払拭し、現在の成果を重視する「成果主義」への転換などです。この成果主義に基づく新人事制度を、2002年4月から管理職を対象に導入し、2003年4月には一般社員（非管理職）にも拡大しました。

活動区分	重点実施事項	実施内容
安全管理	① 不安全行動の撲滅	・管理監督者の安全配慮義務の徹底 ・安全の基本(ルール・行動)教育徹底 ・安全対話の推進
	② 類似災害防止の徹底	・類似災害防止活動の確実な推進
	③ 設備の本質安全化の継続的推進	・既設・改造設備及び新設・移設設備の安全性向上 ・機械設備の自主・定期点検の推進
	④ 構内協力会社等への安全管理指導	・協議会活動及び各社安全活動への取り組み支援
交通安全	① 交通事故防止の徹底	・プライベートを含めた交通安全指導の徹底 ・構内車両災害防止の徹底
衛生管理	① クリーンで快適な職場環境づくりの推進	・作業及び作業環境改善の推進
	② 疾病予防対策・健康づくり活動の推進	・メンタルヘルスの推進 ・疾病予防活動の積極的推進
その他	① 火災予防	・構内における火気管理の徹底
	② 海外派遣者に対する安全衛生対策の推進	・派遣前及び派遣先における安全衛生管理の推進
	③ 安全衛生マネジメントシステムへの移行	・マネジメントシステムの職場定着化の推進

安全・衛生の取り組み

解説

※1：度数率
のべ実労働時間（100万時間）当たりの労働災害発生件数で、災害発生の頻度を表す。
(度数率 = 労働災害発生件数 ÷ のべ実労働時間数 × 1,000,000)